

問

代表質問を平成27年2月20日 に開会した第1回定例会本会議 で行いました。

代表質問

議案の審議に先立ち、各党派を代表する議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

伝統と創造

「こころ織りなす地域づくり」

自由民主党 新井英生 議員



予算案への区長の決意を問う

【問】平成27年度予算案のタイトルは「子どもの未来のために、今。新たなステージへ」と銘打っているが、この言葉に込められている区長の思いとは何か。
また、「新たなステージ」とは、どのようなことを指しているのか。

【区長】足立の未来を担っているのは子どもたちであり、その意味では「子どもの未来のため」は、「足立の未来のため」とも読み替えることができる。区の4つのポトルネットワークの課題は一つひとつ独立して存在するのではなく、それぞれが一定の相関関係を持ちつつ、負の連鎖を生み出している。その連鎖の究極の根源が貧困であると認識しており、過去8年間の様々な対策を経て、問題の核に正面から挑む時がきたと考える。また、「新たな」には、より充実した本格的な対策を打つ時がやってきたとの意味を含めた。
【問】基本構想の見直しに着手したところだが、少子高齢社会をどのように乗り切り、魅力を高めていくとしているのか。
また、基本構想は区民の健康増進を施策の柱に据える等、ソフト面の対応もしっかりと明記していくべきと考えるがどうか。

【政策経営】自治体間競争に勝ち抜くための新たな魅力を創造していくことが重要と考える。

そのために、担税力のある若年層を呼び込み、その定着に向け、街の新たな魅力の創出や子育てしやすい環境整備に努めていく。また、地域のちからを醸成するとともに、健康長寿社会を構築する等、ハード面のみならず、少子高齢化に対応するためのきめ細かなソフト面の施策を充実していくことが必要である。新たな基本構想は、こうしたビジョンを持って、これまで以上にソフト面の施策を充実させた計画にしていく。



花畑エリアデザイン・江北エリアデザインの具体的な状況は

【問】花畑エリアの大学等の誘致や江北エリアの大病院等の誘致について、いよいよ具体的な状況伝える時期に来ていると思われる。施設の名称や誘致に関し区民に真摯に報告すべきと考えるが区長の考えを伺う。
【区長】残念ながらまだそこま

で機は熟しておらず、具体的な内容に触れることができないが、区も全庁を挙げてご要望の施設の誘致実現に向けて、動いているということでご理解賜りたい。
六町エリアデザインは駅前再開発が基本

【問】地域住民は、つくばエクスプレス開通と同時に駅前複合ビルをはじめ地域の活性化を期待していた。六町地域の駅前開発と公共施設の融合をどのように図っていくのか。

【資産管理】現在、エリアデザイン策定に向けた地域の強みや課題等の抽出を行っており、平成27年度のエリアデザイン策定や駅前用地の活用に向け、広く情報収集を行っていく。その際、地元要望である区民事務所や子育て支援施設の設置もあわせて検討を進めていく。

【問】区長は、竹ノ塚、梅島、西新井の各駅周辺をエリアデザイン対象地区として拡大すると表明した。竹ノ塚駅周辺の場合、基本的なコンセプトをどのように考えているのか。

【政策経営】鉄道高架化工事等により期待される東西のまちの一体化やバス路線網の充実等をテコに、当該エリアの魅力を活かしていくことが重要である。あわせて、花畑エリアや日暮里・舎人ライナー駅とのつながりを強める工夫や、草加市との連携協力等も積極的に進めていくことも必要ではないかと考える。

【問】優先交渉権者の事業提案ではフィットネスクラブが核となっている。当該地域にはすでに3つのフィットネスクラブがあり、民業圧迫ではと危惧している。今後、事業者と協議していくとしているが、再考もすべきと考えるが見解を伺う。
【資産管理】優先交渉権者の東京建物株式会社と事業提案内容に関し、協議を進めているが、周辺環境の動向を注視するとともに、議会からの指摘や地元のご意見等を踏まえ、再考も含め慎重に検討を進めていく。

【問】当区の防災における特性を踏まえ、初期消火対策や災害時医療体制の整備等、今後の取り組みを伺う。

【危機管理】地震災害に脆弱なことから、特に初期消火対策の強化を急いでいる。総合危険度ランク5または4の地域に、復興税を活用してスタンドパイプ、消火器のいづれかを平成27年度に追加する考えでいる。

【問】平成27年10月に全区民に番号が通知されるマイナンバーに関し、区民の理解を促すには、何がメリットなのかを伝える必要がある。どのように届出等の手続きが簡素化されるのか。また、個人番号カードの取得にはどのような手続きが必要か。
【区民】ネットワークシステム



個人情報保護の仕組みは

【問】マイナンバーは、民間事業者も税や社会保険の手続きで取り扱うことになる。どのようなイメージで、区民の安心・安全を確保していくのか。
また、自分の個人情報のやりとりの記録を確認できるようにするが、開示システムは、どのような仕組みになっているのか。

【政策経営】区の保有する個人情報提供できるのは、法律や条例で定められている場合に限定される。システム面でも情報へアクセスできる人を制限することともに、その操作履歴を記録することで、区民の安心・安全を確保する措置を講じていく。

また、情報提供等記録開示システム、いわゆるマイ・ポータルは、自分の情報をいつ、誰がなぜ情報提供したのかを確認できる機能が付されることになっており、平成29年1月を目途に導入される予定である。

中小企業融資制度の充実が必要

【問】しっかりと将来を見据え、中小企業の経営基盤の安定のためにも、制度融資の充実が必要と思うがどうか。
【副区長】平成27年度は通常資金の設備資金及び併用資金について、信用保証料補助金の補助割合を1/2から2/3へ拡充していく。また、区の特定制業支援事業の認定を受けた事業者を対象に、信用保証協会の無担保での創業保証枠が拡大されるのに合わせ、区の創業資金のあっせん限度額を1千万円から1千5百万円に拡大していく。

【問】仙台市青葉区は、東北福祉大学の全学生を認知症サポーターとして育成する取り組みを始め、約6千人がサポーターとなるようである。区は区内大学と連携し学生たちとの(仮称)認知症サポーター制度等の取り組みを始める考えはないか。
【福祉】これまで、平成25年度に帝京科学大学の学生76名に受講していただいている。今後は他の大学にも広く認知症サポーター制度を周知し、積極的に養成講座への参加を求めていく。

無料健診を元気高齢者に

【問】例えば、自らの健康チェックとして、65、70、75歳のタ